

2. 基本方針～こんな施設にしたい

(1) こんな複合施設にしたい

①学校とスポーツの交流を大切にする新しい地域複合施設

- ・様々な場面で専門家やプロによる指導が得られ、スポーツへの興味や理解が高まる施設
- ・運動会やスポーツイベント等で、学校施設とスポーツ施設の相互利用、共用、連携が図れる施設
- ・学校施設とスポーツ施設各々の機能を十分に確保しつつ、交流・連携を促進できる施設

②みんながつながる、誰もが主役の複合施設

- ・年齢、性別、国籍、障害の有無に関わらず、誰もが利用しやすい施設
- ・子どもからお年寄りまでの多世代が集い、多国籍な文化を大切にし、多様性を楽しめる施設
- ・地域のお祭り・イベント・スポーツなど様々な活動を通してみんながつながる、まちに開かれた施設
- ・交流と安全安心なセキュリティを両立した施設

③地域防災拠点としての複合施設

- ・災害時に地域の防災拠点（避難場所／救援センター）としての機能を発揮できる施設
- ・としまみどりの防災公園（イケ・サンパーク）と日常時・災害時で連携を高め、誰もが安全安心に過ごせる施設

(2) こんな学校にしたい

①三校の連携を大切にし、子どもたちの主体的な学びを育む学校

- ・対面やオンラインでの交流機会を積極的に創出し、三校連携を促進する学校
- ・クラスや学年、学校を超えた子どもたちの交流を促進し、豊かな心を育む学校
- ・これまで育まれてきた連携校の特色ある活動を継承し、発展していく学校
- ・教職員（三校・特別支援）の連携を促進する学校
- ・日々進化する学習内容や学習形態・ICT 環境に対応できる多様な教育環境を整備し、子どもたちの成長に繋げることができる学校

②多様性を大切にする学校

- ・多様性に配慮し、子どもたちや教職員が快適に過ごせる学校
- ・ひとりひとりの才能やポテンシャルが開花するような、興味関心に合わせて様々な体験ができる、多機能・高機能な学校

③地域と一体になって子どもたちを育む学校

- ・地域のお祭り・イベントなど地域と一体となる様々な活動を積極的に行い、地域の子どもたちに文化と伝統を継承していく学校
- ・地域が一体となって、子どもたちの日々の学校生活を見守り、地域の子としてみんなで育む拠点としての学校

(3) こんな総合体育場にしたい

①各競技の設備が充実した最先端の施設

- ・十分なスペースを確保し、いつでも思い切りからだを動かせる施設
- ・総合的で、多様性のあるスポーツ施設として整備することで、豊島区にしかない施設

②年齢や立場の垣根がなく誰でも使いやすい施設

- ・障害を持っている方が継続して活動できる施設
- ・アクセスのしやすさ、バリアフリー化に配慮し、全世代が利用しやすい施設
- ・多言語に対応し、時代に合ったシステムを導入することで、だれでも使いやすい施設

③地域を活性化させるような多世代の交流が生まれる施設

- ・イケサンパークから気軽に足を運べ、一体で利用できる施設
- ・地域のよりどころとなり、豊島区のスポーツランドマーク的な施設
- ・交流スペースを充実させ、スポーツが地域交流の軸となるような施設

3. 整備方針～こんな風につくりたい

【複合施設全体】

	設え	<ul style="list-style-type: none"> ・多様性に配慮した、インクルーシブな施設（ユニバーサルデザイン） ・防災機能を充実させる。特に小中学校に関しては、防災時の救援センターとなるため、その点を考慮した整備を行う（広い空間の確保、防災備蓄倉庫の充実と分散配置、かまどベンチ、防災井戸、災害用トイレなど） ・設備機器は管理運営がしやすいように整備する
	環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内の緑化の推進を図るなど、緑が多く自然を感じられる施設とする ・子どもたちの環境教育の場として利用できるよう、太陽光発電や雨水利用などの設備を導入する ・自然通風など自然エネルギーを積極的に取り入れ省エネルギー化を図る ・建物の断熱化や陽射しを遮る工夫を施す
	土地の有効活用ほか	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺環境や地域の景観、地域動線に配慮した施設配置とする ・イケサンパークとの連携を意識した施設配置とする

【学校部分】

学校全体	設え	<ul style="list-style-type: none"> ・三校連携の活動を促進する各校のシンボルや新たな地域の象徴となるものを表現する ・地域の伝統の継承につながるような設えとする ・小学生と中学生がお互いの活動が見える設えとする ・木材や自然素材、豊かな採光など、子どもの五感が刺激される環境をつくる ・見通しがよく、開放的で明るい校舎とする ・将来的な児童数の増減に対応できる工夫を行う ・ICT化など将来的な学習環境の変化や子どもたちの活動に合わせた多目的に利用できる教室を整備する
	機能	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一体となることに配慮し、成長段階に応じた学年のまとまりと学習環境を整備する ・地域開放エリア・放課後活動エリア・総合体育場機能など、それぞれの運用に配慮し、学校エリアの安全安心な防犯・セキュリティを確保する ・子どもスキップや中学生の放課後の居場所に配慮した場所を設け、保護者も安心できる場所とする
教室	普通教室	<ul style="list-style-type: none"> ・共用部を含めた空間の自由度を高めた環境とし、様々な単位での学習

等		<p>が展開できるフレキシビリティに配慮したつくりとする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール構想やオンライン教育等の教育環境の変化に柔軟に対応できるよう整備する ・充実した広さの教室とし、教室内外には十分な収納と展示・掲示スペースを確保する ・教室内外にクールダウンをはかるデン（洞穴空間）やアルコーブを設ける
	特別支援教室	<ul style="list-style-type: none"> ・温かみのある落ち着いた環境とし、普通教室と一体でインクルーシブな環境で生活できるようにする ・十分な広さを設けると同時に、個の発達差に考慮して仕切りを行うことができるようにする ・共用部を含めた空間の自由度を高めた環境とし、様々な単位での学習が展開できるフレキシビリティに配慮したつくりとする ・教室内外にクールダウンをはかるデン（洞穴空間）やアルコーブを設ける
	特別教室等	<ul style="list-style-type: none"> ・小中で共用できる諸室は、共同利用するなど効率的に利用できるよう工夫する ・地域のイベントや学校行事等の練習ができる場所としての機能を確保する
	学校図書館・多目的室	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの中心となるように、小中が一体で使えるよう配置すると共に、日常的に使いやすい動線を確保する ・学校図書館は十分な蔵書と閲覧スペースを確保し、本に囲まれくつろげる場所とする ・子どもたちの自習やグループ学習など、多様な活動に応じた場所を設ける
諸室・共用部	管理諸室	<p><職員室></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中・特別支援学級の教員が一同に集まることができる広さと座席数を確保した職員室とする ・三校連携を促進するため、巣鴨小の教員をはじめ他校の教員が来校し連携することなどを想定した打合せスペースなどを設ける <p><会議室など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の小会議室を設け、個人面談や相談室、リモート会議の場所として使えるような個室機能を確保する ・教材作成、会議、打ち合わせ、情報交換、リフレッシュ、更衣、休憩、資料保管など、それぞれの活動・目的に相應しい環境をつくる

	トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく綺麗で使いやすく、プライバシーを確保した使い心地のよいトイレを整備する ・広さを確保するとともに、オストメイトやおむつ台などインクルーシブに配慮した多目的トイレを整備する
	廊下・階段	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で見通しのいい広さを確保する ・子どもたちの作品や活動を展示するスペースを確保する ・ベンチやソファなどを設け、休み時間などでおしゃべりやくつろいだりできる居場所を設ける
体育施設等	体育館	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活、学校行事、避難機能など様々な観点を考慮し、十分な広さを確保する ・四季を通じて快適に利用できる設備性能を備える ・イベントや行事等で使用することを考慮し、十分な防音性を確保する ・救援センターとしての活用を想定した整備を行う ・大人数での利用を想定した出入口を計画する ・地域開放を考慮した動線計画をし、地域開放用の器具庫を設けるなどの整備をする
	プール	<ul style="list-style-type: none"> ・プールは屋内プールとし、十分な広さを確保する ・小中9学年が利用するため、水深調整機能を持たせたプールとする ・通年利用を想定した整備を行う
屋外	校庭、その他	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭は、小中1面ずつ確保し、十分な広さを確保する ・運動会などの行事の際は、保護者や子どもたちの観覧スペースを工夫し、子どもたちの競技スペースを十分に確保する ・小中の活動に合わせた仕様とする ・教室などから直接利用できるテラスやバルコニーを用意し、室内と連携して安全に利用できる環境を整備する ・ピオトープや池、飼育小屋など自然や生き物に触れあえる環境を屋上利用含めて計画する ・畑（菜園・花壇）を整備し、食育につながる栽培活動が行えるようにする ・子どもたちが交流したり、リラックスできる屋外スペースを整備する ・体育館や校庭以外に子どもたちが運動できる場所を整備する ・地域開放を考慮した動線計画をし、地域開放用の器具庫を設けるなどの整備をする

【総合体育場部分】

総合体育場全体	設え	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特性に合わせた、都心のランドマークとなるような施設とする ・近隣への騒音等にも配慮した設えとする
	機能	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代の交流が生まれ、生涯スポーツの拠点となる総合体育場とする ・開放感を感じられる空間をつくる ・エレベーターを設置し、バリアフリーに配慮した建物とする ・防犯カメラの設置など防犯対策に配慮する ・防災機能を充実させる ・児童・生徒と体育施設利用者の動線を分離し、安全に使用できるつくりとする
総合体育場競技室	庭球場	<ul style="list-style-type: none"> ・コート間は4mの間をあける ・コート背面は有効寸法で6mのスペースを確保し、可能であれば7m以上を確保する ・高さは9m以上を確保し、可能であれば12m確保する ・照明や壁面の色など、ボールが見やすい工夫を施す ・ギャラリースペース、待機場所を確保する ・大会運営用の本部席を設けることのできるスペースを確保する ・十分な広さの倉庫をつくる ・カーペットコートの場合は靴箱を設ける ・壁にぶつかったボールがコート内に戻らないよう工夫を施す ・理想はオムニコートとすることだが実現可能性を考慮し設計する ・オムニコートとして整備する場合は砂を落とせるスペースをつくる ・照明は埋め込み型にするなど、安全性・機能性に優れた設計とする
	体育室（卓球場）	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的利用を前提とした空間とする ・ダンスやヨガでの利用を想定し、鏡を設置する ・卓球台8台以上が収納できる倉庫を設置する ・車椅子スポーツの体験ができる設えとする ・遮光性や、光量、色温度に配慮する ・利用のイメージに合わせた室名とする ・音響設備を充実させることで、音楽面での多目的利用も促進させる ・移動間仕切を設置し、可変性を高める
	弓射場（アーチェリー）	<ul style="list-style-type: none"> ・81m×13mの競技スペースを確保する ・幅13mの内訳は、競技者6人の間隔1.8m×5+両側2mとする ・長さ81mの内訳は、射距離70m+的の後ろ2m+射場3m+控え3m+待機3mとする ・控え・待機は角度を変えてもよい（射場の横に移動させるなどの調整

		<p>は可能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・控え、待機スペースの配置は建物形状に合わせて調整する ・的場の近くに倉庫をつくる ・一般の人が見学できるスペースを確保する ・指導員が待機できる場所や作業スペースを設ける ・階高は6～7m確保する（弓道利用時に必要となる）
	弓射場（弓道場）	<ul style="list-style-type: none"> ・倉庫や控室合わせて、50m×15mのスペースを確保する ・長さ50mの内訳は、射距離28m＋安土2m＋射手2m＋本座2m＋控え5m＋各種スペース11とする ・幅15mの内訳は、競技者6人の間隔1.8m×5＋両側2m＋審判席2mとし、矢取道や看的所、倉庫などもこの中で確保する ・各種スペースはワンフロアとし、巻き藁（2人分）、作業スペース、講師控えなども含む ・控えと各種スペースの間に移動間仕切りを設置する ・畳が必要な場合は置畳とする
	野球場	<ul style="list-style-type: none"> ・2面の野球場（現状と同規模）を確保 ・照明をLED化し、近隣への光漏れに十分考慮する ・防球ネットの高さを引き上げる ・センターの位置に気を付けて整備を行う ・防音壁の設置等、近隣への配慮を行う ・選手の待機・準備場所を確保する ・野球場側に車が進入可能な入口を設置 ・左右翼で約80mを確保し、可能であれば90m確保する ・A面がメインとなるような計画とする ・野球場としての利用に特化した人工芝を選定する ・大会本部・審判室（熱中症対策の為、エアコン設置）や各連盟の倉庫、グラウンド専用トイレ・水道設備を充実させる ・車いすやベビーカー利用者に配慮した観覧席の設計とする ・敷地を南北に行き来できる通路を確保する ・イケサンパーク側に複数の出入口を設ける
総合体育場諸室	エントランス	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な広さを確保したスペースとする ・交流の生まれるようなつくりとする ・椅子や机、自販機を設置し休憩スペースとしても活用する ・エントランスより先は土足禁止とする ・野球場から使いやすい位置に出入口を設ける”
	管理諸室	<ul style="list-style-type: none"> ・受付は1階とする ・管理者用の更衣室を確保する ・休憩室と給湯室を設ける

		<ul style="list-style-type: none"> ・医務室を設置する ・建物内外から入れる作業スペースを確保する
	更衣室・シャワー室	<ul style="list-style-type: none"> ・各競技スペースから使いやすい配置、個数とする ・利用人数に合わせたシャワー台数を確保する ・障害を持った方も使いやすいつくりとする ・清掃しやすく、清潔に保ちやすい仕様とする ・女性用パウダースペースを設ける ・便器の数は十分に確保する
	トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・各階に配置し、各競技スペースから使いやすい配置、個数とする ・きれいで居心地の良い場所とする ・感染症対策を考慮する ・だれでもトイレを設ける ・ベビーチェア・ベビーベッドを設置する
	授乳室	<ul style="list-style-type: none"> ・各競技スペースから使いやすい場所に確保する
	会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的な使い方が可能なつくりとする
	エレベーター	<ul style="list-style-type: none"> ・各競技者が使いやすいエレベーターとする
	屋外・通路	<ul style="list-style-type: none"> ・障害を持った方も使いやすい設計とする
	駐車場・駐輪場	<ul style="list-style-type: none"> ・地下に整備し、地上部を有効活用する。 ・有料駐車場を確保してほしい ・渋滞防止のため入口位置を考慮する ・日常利用において、十分な台数を確保する ・車椅子利用者にも配慮した設計とする ・施設利用者が優先的に利用できるシステムとする ・指導員は無料にするなど、利用者の属性に応じた料金システムとする ・駐輪場は複数個所に計画し、利便性を高める

同一中学校ブロックの巣鴨小学校に対する意見

巣鴨小学校に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT環境の充実を図り、オンラインでの連携もしやすい環境を整備する ・特色ある教育環境の提供に繋がる場所等を整備する ・巣鴨小学校区から新校舎に通う児童・生徒の通学環境に配慮する
-------------	--